

中田 國太郎 選 投稿数15首

盆迎ふご詠歌さらう山の寺亡き友がらの面影つかぶ
 (評)都会に住む人々が故郷に帰る大移動の盆月がやってくる。盆の行事は、人々が久しぶりに故郷の人々に会い、故人に再会する心の安らぎの「隣」である。この短歌で詩情を誘うのは「山の寺」である。緑の風に包まれた山寺には、盆が近づき人々が唱えるご詠歌がひびき、そこに座していると、親しかった故人の面影がうかんでくる。日本人の心情をしみじみ詠んだ秀歌である。うらささとを詠んだ啄木の首「うらさとの山に向ひて言ふことなしうらさとの山はありがたきかな」金子作親孝行な子らの心がにじみよし。新井作玉音と蟬時雨の強烈な印象あり。四方田作貴重な若者の姿あり。

父の日にわが好物の赤飯と酒で祝ひし子等に感涙
 玉音を聞いた六十四年前我は十六歳時雨の昼 皆野 金子善次郎
 里神楽継ぎゆかむとぞ若者が廃校近くの神社に集ふ 皆野 新井 茂
 出征の子の無事祈願を三夜寺へ祖母は毎月詣でたと聞く 上日野沢 四方田利男
 わが腕にそっと抱きし曾孫は天使のごとく笑みし一瞬 皆野 野口 貞子
 七人目の曾孫生まるるを告げたれば遺影の夫も微笑みて見ゆ 金崎 山田 雅子
 残る花愛でつつポピーの種をとる地域総出の環境整備 下日野沢 浅見 豊子
 沖繩の戦後ばかり六十年湧き出る涙頬を流るる 三沢 眞下 杏子
 先達や元気な姿九十三俺もまけんと三峰参り 皆野 塩田 千代
 夫婦愛親子の絆「おくりびと」のラストシーンは涙の感動 三沢 横田 龍雲
 ビーエスの俳句選者とゲストにて兜太先生凛たる姿かな 皆野 新井 愛子
 戦時中餓死で逝かれた人偲び今世の豊を大切に生く 三沢 鈴木 キタ
 三沢 横田ハルジ

引間 豊作 選 投稿数20句

夏霧や神の鎮まる巫子の舞 (評)夏霧の巻く神苑となると、この界限では三峰神社くらいの高抜でないと見られないかと思う。そんな氣象条件の今頃、特に朝など米先が視界の外になることに、時として出交すことがあり、自分の立つている足許まで霧が湧いた時には、この上を渡れるのではないかと錯覚しかねない。講中として神殿での舞の座に、今しも舞樂の音に添って白無垢の衣裳に緋の袴の巫子が、神鈴と幣を振りながらの舞に、参詣の信奉者はしわぶきひとつせず、この厳肅な空間に刻を忘れることができる。

明日は晴れ大きな虹の橋かかる 巢づくりに勵む燕や泥はこぼ
 三沢 沢野 恒平 下日野沢 浅見 好一
 山に棲み天狗に戻れ鴉の子 牧場の空へつながらるポピーかな
 三沢 沢野 恒平 金沢 山口真千子
 咲き上る真つ紅な葵雨霽るる 河鹿鳴く沢辺の畑に草けずる
 金沢 青木富佐子 三沢 眞下 杏子
 鷺草や飛び立ちそうに空仰ぐ 夕暮の螢袋を透しみる
 皆野 関根 助市 下日野沢 引間富美子
 囲繕ひ密かに終へてをりし蜘蛛 信濃路や青田に白きポンプ小屋
 下田野 中田 久恵 金沢 飯嶋寿万子
 揚げ茄子の彩夫の誉む夕餉かな さくらんぼ残りの一つじゃんけん
 三沢 新井 民子 三沢 横田ハルジ

夏霧や神の鎮まる巫子の舞

皆野 根岸 詩子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 1人1句、1首に限りです。
8日必着

1歳のお誕生日おめでとう

1歳になる
 赤ちゃんを
 募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生日の前月10日までに総務課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

問合せ 総務課企画政策担当
 ☎62-1230 内線204



りな
里菜ちゃん

上原区
 加藤 貴司さん
 彩さん
 我が家のアイドル里菜♡
 これからもハッピースマイル
 よろしくね!



かける
翔くん

駒形区
 中野 憲幸さん
 優美さん
 人見知りせずとても愛嬌のあるかーくん。
 元気に育ってね♡